CONSULAT GÉNÉRAL DE FRANCE À KYOTO
Liberté Égalité Fraternité

INSTITUT FRANÇAIS アンスティチュ・フランセ関西 Japon - Kansai
vivre les cultures

2022.10.18
プレスリリース

3 年ぶりに フランスより作家・漫画家が来日！

フランス文学とバンド・デシネ（フランス語圏のマンガ）の フェスティバル

第 15 回「読書の秋 2022」

開催期間：2022 年 10 月 20 日（木） ～11 月 20 日（日）
会場： アンスティチュ・フランセ関西、京都国際マンガミュージアム、関西学院大学、京都外国語大学、京都経済センター、他

第 15 回を迎える「読書の秋」。一か月にわたり、全国のアンスティチュ・フランセがフランスの現代文学とバンド・デシネ（フランス語圏のマンガ）の祭典を開催します。

ベストセラー作家、**ゴンクール賞**最優秀新人賞受賞作家など、今回は **3 年ぶりに**話題の作家をフランスより招いて講演会、日本の作家との対談、サイン会、映画上映、ワークショップ等を実施。テーマもワイン、京都、ハラスメント、ジェンダー等々、多岐にわたります。

ノーベル文学賞の受賞で注目を集める**フランスの「今」の文学やバンド・デシネ**を知って頂く絶好の機会です！

読書の秋 2022 全プログラム：https://www.institutfrancais.jp/kansai/agenda/dokushonoaki/

リリースに関するお問合せ アンスティチュ・フランセ関西 広報担当：長谷川（火～土）
satoko.hasegawa@institutfrancais.jp Tel 075-761-2168(直) https://www.institutfrancais.jp/kansai/

CONSULAT GÉNÉRAL DE FRANCE À KYOTO
Liberté Égalité Fraternité

INSTITUT FRANÇAIS アンスティチュ・フランセ関西 Japon - Kansai

vivre les cultures

フランスで最も
権威ある文学賞、
ゴンクール賞
最優秀新人賞！

「他者の声に触れる」
マイリス・ベスリーを迎えて

日時：11 月 15 日（火） 17:00-18:40

会場：関西学院大学　上ヶ原キャンパス、B202 教室（兵庫県西宮市上ケ原一番町 1−155 ）

MAYLIS BESSERIE

人生の終わりを待つひとりの老人 ——その名は、サミュエル・ベケット。 ノーベル賞作家サミュエル・ベケットが亡くなるまでの半年間を通して、老いと向き合う人間の普遍的な姿を描き出したゴンクール賞最優秀新人賞受賞作が、早川書房より刊行された。
マイリス・ベスリーの小説『ベケット氏の最期の時間』の日本出版に際して、講演会とサイン会を行います。フランス人作家としての急成長、ベケットからフランス文学の大作家までインスピレーションを得た作家たち、そしてエグゾフィクションを書くプロセスをめぐってお話いただきます。

逐次通訳付・入場無料

お問合せ：関西学院大学文学部フランス文学フランス語学専修
kwansei.france+feuillesautomne@gmail.com
主催：アンスティチュ・フランセ関西　共催：関西学院大学

人生の終わりを待つひとりの老人 ——その名は、サミュエル・ベケット。
『ベケット氏の最期の時間』
ノーベル賞作家サミュエル・ベケットが亡くなるまでの半年間を通して、老いと向き合う人間の普遍的な姿を描き出した。1989年、パリの高齢者養護施設でひとりの老人が最期の時を迎えようとしている。彼の名はサミュエル・ベケット。不条理演劇の代表作であり後世の全演劇人に少なからず影響を与えた不朽の戯曲『ゴドーを待ちながら』の作者だ。とはいえ本書は評伝ではない。ベケットを主人公としながら、史実と彼の著作を元に、作者が想像力を駆使して描きだした小説である。同時に、ある人間が死を迎えるまでの半年間の軌跡を描き出す、普遍的な作品でもある。

歴史と文学による女性の表象と社会的統制 －
モナ・ショレ x 木村朗子の対談

フランスで活躍するベストセラー作家！フェミニズムのアイコン！

日時：11 月 12 日（土）　13:30-15:30
会場：アンスティチュ・フランセ関西ー京都、稲畑ホール
（京都市左京区吉田泉殿町 8）

モナ・ショレのベストセラー『魔女　女性たちの不屈の力』の日本発売を記念して、作家と木村朗子が文学と歴史における女性の表現について、フェミニズムやジェンダーの観点から語り合います。

MONA CHOLLET

モナ・ショレ

モナ・ショレはフランスで活躍するスイス出身のジャーナリスト。2016 年から「ル・モンド・ディプロマティーク」紙編集長。著書に『魔女　女性たちの不屈の力』、『致命的な美（仮訳）』など。最新作『愛を作り直す（仮訳）』は 2021 年 11 月の発売以来、ベストセラーとなっている。
魔女は、女性たちが受けた迫害の象徴であり、よく知られたフェミニズムのアイコンです。ここ数年、女性たちはこの象徴を我が物とすることで、権利を要求し、声をあげてきました。モナ・ショレは魔女の起源を説明し、現代女性に対する社会のまなざしの分析につなげています。

木村朗子

津田塾大学教授で日本古典文学を専門とする木村朗子は、古典小説におけるジェンダーの問題を研究しています。『恋する物語のホモセクシュアリティ　宮廷社会と権力』、『乳房はだれのものか　日本中世物語にみる性と権力』(いずれも 2009 年日本女性史研究賞受賞）。

司会：イザベル・オリヴィエ

フランス語、日本語逐次通訳付・入場無料
主催・お問合せ：アンスティチュ・フランセ関西　Tel 075-761-2105

CONSULAT GÉNÉRAL DE FRANCE À KYOTO
Liberté Égalité Fraternité

INSTITUT FRANÇAIS アンスティチュ・フランセ関西 Japon - Kansai

vivre les cultures

ミュリエル・バルベリ
『京都に咲く一輪の薔薇』
トーク＆サイン会

京都に暮らしたフランスの
大ベストセラー作家
新刊発売記念！

日時：11 月 17 日（木） 19:00-21:00
会場：京都経済センター 7階 会議室
（京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78）

MURIEL BARBERY

今年の 11 月 2 日に早川書房より邦訳が刊行予定の『京都に咲く一輪の薔薇』において、ミュリエル・バルベリは自身の日本とのつながり、とりわけ、2008 年に初めて訪れた京都との絆を再び深めています。
大ベストセラー『優雅なハリネズミ』（2006）で知られる作家の第 5 作目となるこの小説では、京都の伝統や自然に対する美しいオマージュが捧げられています。

ミュリエル・バルベリ
1969 年生まれ。高等師範学校で哲学の教員資格を取得し、大学などで教鞭を執った後、小説家に転じ、2000 年に『至福の味』でデビュー。同書はフランス最優秀料理小説賞を受賞し、14 カ国語に翻訳された。第二作となる『優雅なハリネズミ』（2006 年、以上早川書房刊）は、**全世界で 200 万部を超えるベストセラー**となった。第五作となる『京都に咲く一輪の薔薇』をフランスで 2020 年に刊行後、2022 年に発表された本書の前日譚ともいえる『Une heure de ferveur（情熱の一時間）』は、フランスで最も権威ある文学賞、**ゴンクール賞にノミネート**された。現在はトゥーレーヌ地方在住。2008 年と 2009 年は京都に、2012 年から 2014 年まではアムステルダムに在住していた。

逐次通訳付・入場無料 定員 20 名+オンライン参加 100 名
※事前に WEB サイトよりお申込み下さい。
https://www.institutfrancais.jp/kansai/agenda/2022fa11/
主催：アンスティチュ・フランセ関西 共催：大垣書店
お問合せ ： 大垣書店京都本店 075-746-2211

「マンガと酒、そしてワイン」

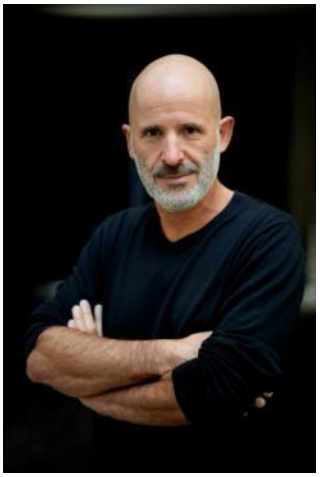
エティエンヌ・ダヴォドー × 尾瀬あきら トークショー

日時：11 月 6 日（日） 14:00-16:00
会場：京都国際マンガミュージアム 1 階多目的映像ホール

（京都市中京区金吹町 452）

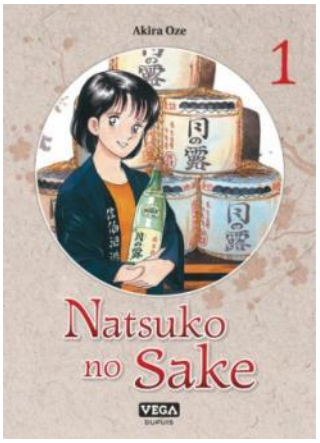
14 カ国で翻訳された話題の
マンガが待望の邦訳化！

エティエンヌ・ダヴォドーの『ワイン知らず、マンガ知らず』（サウザンコミックス）は、マンガに無知な自然農法のワイン醸造家と、ワインに無知なマンガ家の相互の教え合い・学び合いを描いたバンド・デシネ作品です。一方、尾瀬あきらは、「夏子の酒」などで日本酒造りの中で起こるさまざまな問題を描いてきました。
本イベントでは、お酒造りをテーマに作品を発表しているお 2 人をゲストに迎え、マンガと酒、ワインにまつわるさまざまな話題について語っていただきます。



ETIENNE DAVODEAU

エティエンヌ・ダヴォドー
フランスの漫画家。1992 年に漫画家デビュー。小説やルポルタージュを漫画で表現する手法を取る。扱うテーマは、政治や歴史的に重要な人物、または現代の魅力溢れる人物など多種多彩である。
2013 年、代表作『素顔のルル』がソルヴェイグ・アンスパック監督により映画化される。代表作『ワイン知らず、マンガ知らず』（2011）は、2012 年のアングレーム国際漫画祭の公式セレクションにノミネートされ、世界的な知名度を得ることとなる。



尾瀬あきら （おぜ・あきら）
京都市出身。石ノ森章太郎のアシスタントを経て1971年，松本めぐむ名義で『別冊少年キング』にてマンガ家デビュー。その後、ペンネームを尾瀬あきらに改名。1988年に『モーニング』にて、酒造りや農家の米作りの現状を描いた「夏子の酒」を連載開始。テレビドラマ化されるなど、全国に日本酒ブームを巻き起こした。

司会 ： 原正人(バンド・デシネ翻訳家)

入場無料・要ミュージアムの入館料（大人:800 円、中学生:300 円、小学生 100 円）・逐次通訳付

主催：アンスティチュ・フランセ関西
共催：京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター
お問合せ：京都国際マンガミュージアム Tel 075-254-7414

THOMAS MATHIEU

トマ・マチュー：ベルギーのサン・リュック高等美術学校でバンド・デシネを専攻。2013 年から「クロコダイル・プロジェクト」のクリエイターとして、日常的に繰り広げられる女性差別や街中でのハラスメントを、男たちをワニに擬人化し漫画にしている。

女性に対するハラスメントを描く
ーバンド・デシネ『クロコダイル』の作者、トマ・マチューの講演会とサイン会

トマ・マチュー
インタビュー可能です！
10 月 19 日（水）～
22 日（土）まで

日時：10 月 20 日（木） 14:00-15:30

会場：京都外国語大学 （京都市右京区西院笠目町 6）

ベルギー出身のトマ・マチューは、ストリート・ハラスメント、マチズモ、性差別といった問題に関連する女性の証言をイラストで表現しています。ベルギー発・ウェブで集まった女性たちの証言から生まれたセクシャル・ハラスメントのノンフィクションマンガの日本語版『クロコダイル—ワニみたいに潜む日常のハラスメントと性差別、そしてその対処法—』（かもがわ出版 2022 年 8 月発売）の翻訳者、リボアル堀井なみの、コザ・アリーンと著者が意見を交換します。

逐次通訳付・入場無料

主催：アンスティチュ・フランセ関西／共催：京都外国語大学／支援：ベルギー王国フランス語共同体政府国際交流振興庁／協力：鴨川出版 Mimoza Ways Women's rights theatre cultural exchange between Japan and France

お問合せ：京都外国語大学外国語学部　フランス語学科　mi_morit@kufs.ac.jp

『ワニ』はどこにでもいるーマンガで考える性暴力～
トマ・マチュートークショー

日時：10 月 22 日（土） 14:00-16:00

会場：京都国際マンガミュージアム 2 階 ギャラリー6 （京都市中京区金吹町 452）

『クロコダイル—ワニみたいに潜む日常のハラスメントと性差別、そしてその対処法—』の出版を記念し行われる本イベントでは、著者であるトマ・マチューが作品の制作経緯や、作品のテーマにもなっている日常の性暴力に関する話を語ります。イベント終了後にはサイン会も開催。

登壇：トマ・マチュー（バンド・デシネ作家）、ユースギョン（司会）

逐次通訳付・入場無料、要ミュージアムの入館料（大人:800 円、中学生:300 円、小学生 100 円）

定員 30 名（先着順）事前申込不要 ※当日 10 時 30 分から会場受付でトークイベントの整理券を配布

主催：ベルギー王国フランス語共同体政府国際交流振興庁（WBI）、アンスティチュ・フランセ関西、京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター／協力：かもがわ出版

お問合せ：京都国際マンガミュージアム Tel 075-254-7414

読書の秋2022　イベント一覧

10 月 20 日（木）14:00-15:30
女性に対するハラスメントを描く-
バンド・デシネ『クロコダイル』の作者、トマ・マチューの講演会とサイン会　会場：京都外国語大学

10 月 22 日（土）14:00-16:00
『ワニ』はどこにでもいる-マンガで考える性暴力～トマ・マチュートークショー
会場：京都国際マンガミュージアム

10 月 27 日（木）9:30 / 11:30
フランスの絵本作家　ルーシー・フェリックスのワークショップ　会場：こども本の森　中之島

10 月 29 日（土）16:30-18:30
バンド・デシネ『わすれられたブルゴーニュ』を囲んで　講演会＆ワインのテイスティング
会場：アンスティチュ・フランセ関西－大阪

11 月 5 日（土）13:00-16:30
「バンド・デシネやマンガを翻訳しましょう!」 日仏翻訳ワークショップ
会場：アンスティチュ・フランセ関西－京都

11 月 6 日（日）14:00-16:00
「マンガと酒、そしてワイン」エティエンヌ・ダヴォドー　×　尾瀬あきらトークショー
会場：京都国際マンガミュージアム

11 月 12 日（土）16 :00-18 :00
映画『素顔のルル』の上映　会場：アンスティチュ・フランセ関西－京都

11 月 12 日（土）13 :30-15 :30
「歴史と文学による女性の表象と社会的統制」モナ・ショレ　x　木村朗子の対談
会場：アンスティチュ・フランセ関西－京都

11 月 15 日（火）17:00-18:40
作家マイリス・ベスリーを迎えて　会場：関西学院大学

11 月 17 日（木）19:00-21:00
ミュリエル・バルベリ『京都に咲く一輪の薔薇』トーク＆サイン会　会場：京都経済センター

11 月 19 日（土）16 :00-18 :00
映画『素顔のルル』の上映　会場：アンスティチュ・フランセ関西－大阪

11 月 20 日（日）13:30-15:30
ディクテ（書き取り）コンクール　会場：アンスティチュ・フランセ関西－京都